

ボランティア移送サービスの運行を開始！

「みんなでつくる暮らしの足づくり」を目標に、一昨年より、牛久市および牛久市社協と連携してすすめてきた「ボランティア移送サービス」の運行を2月より開始しました。

ボランティア移送サービスは、買い物や病院への通院が不便な地域の高齢者を対象とした、地域の住民によるボランティア活動です。

昨年末に、この活動用として牛久市より新しい7人乗りのワンボックスカーを貸与され、その納車式が行われました。



納車式で、根本市長より三村会長に立派なゴールドンキーが授与されました。

移送サービス活動は、岡田小地区社協が運営主体となって、当面は、「東下根」「下根ヶ丘」「第八岡見」「上池台」「岡見」「東岡見」の6行政区の高齢者を対象として運行します。

利用は、対象地域の高齢者で、移送サービス会員登録（入会金・会費不要、入退会自由）をしていただくこととなります。送迎先は牛久市内の病院（セントラル病院と牛久愛和総合病院）、大型のスーパーマーケット、市役所等の公共施設で、週3日（4回/日）の運行となります。

なお、利用料としては、燃料費等の実費として往復30～70円（行政区によって異なる）をご負担いただきます。

※ 移送サービス利用の詳細は、下記の移送サービス事務局または各行政区の区長さんにお問い合わせください。

移送サービス委員会事務局（「交通移動支援委員会」より改称しました）

電話番号：029（899）8569 受付日：月曜、水曜、木曜 午後1時30分～4時



移送サービス委員会の委員の皆さん

移送サービスは始まったばかりで、不慣れでご満足のない点が多々あると思いますが、皆様のご利用とご支援により、内容の充実と岡田小地区社協全域への事業に拡大を図っていきたく思います。

各行政区に委員が在籍していますので、ご遠慮なく、ご意見、ご提案をお願いします。

[移送サービス委員会事務局]

住民交流委員会 サロンの発表会

昨年秋、すまいるサポーターやサロンを運営・参加している方々に呼びかけたところ74名が参加の意思を表明、第1回交流会には54名が出席しました。第1回交流会では、中柏田行政区が新しく立ち上げた健康長寿サロンについて、第八岡見行政区が自治会館をフルに使うたまり場活動の盛況ぶりについて、東下根行政区がいったん消滅後復活したシニアクラブの新しい展開について発表を行いました。

魅力を高める知恵を取り組みから探る



初回交流会に 54 名が出席

岡田小地区社協住民交流委員会は、住民同士の良いつながりを育てるために、サロンの育成に注力してきました。その一環として昨年「サロン運営交流会」を発足させ、第1回交流会を11月27日に中央生涯学習センター大講座室で開催しました。

サロン運営交流会は、岡田小学校区の各地域でサロンを運営したり、それに参加したり、興味を持っている人たちが一堂に会して、自分たちがサロンをどのように運営しているか、互いに紹介し合い、そこからサロンの魅力を高めるための現場の知恵を汲み取ることを目的としています。

行政区とシニアクラブの連携に共感の声



中柏田の発表では、地区社協住民交流委員の発案を受けて、行政区とシニアクラブの役員会が連携して健康長寿サロン発足まで盛り上げていった動きに対して、「素晴らしい」とか「羨ましい」という感想が、会場でも住民交流委員会でも出ました。

新しい事へのチャレンジが サロンの魅力を生む



東下根は世帯数70戸弱ですが、参加費5千円の日帰りバス旅行に40人参加したとの報告に「新しいことへの意欲的なチャレンジが、復活シニアクラブの魅力を生んでいるのだ」との感想が出ました。

75歳以上の住民の85%が たまり場活動に参加



第八岡見の発表では「75歳以上の住民の85%が何らかのたまり場活動に参加している」とのデータに、感嘆の声が上がりました。

日常生活支援アンケート結果

(2018年12月実施)

岡田小地区社協が、東岡見、岡見、第八岡見、上池台、下根が丘の5行政区を対象にアンケート調査を実施しました。

集計結果は下記図形表のとおりです。回答者数は、支援をして欲しい項目のいずれかに○を付けた人が180名、支援協力できる項目のいずれかに○を付けた人が400名でした。一人で数項目に○を付けていますので、数字は回答者数より多くなっています。

今回の調査結果を踏まえ、早期実施に向けてこれから具体策を検討して参ります。

支援をしてほしい人

支援に協力できる人

東岡見	39
岡見	15
第八岡見	87
上池台	21
下根ヶ丘	18

家事支援	19
買い物同行	29
付き添い支援	27
日曜大工的作業	
屋内	46
屋外	32
簡単な庭の手入れ	37

東岡見	32
岡見	72
第八岡見	141
上池台	60
下根ヶ丘	95

数字は人数です

家事支援	54
買い物同行	50
付き添い支援	83
日曜大工的作業	
屋内	93
屋外	42
簡単な庭の手入れ	78

見守り活動講演会

30年10月25日

多様化する要望に対し、社協および地域は見守り支援をどのように取り組めば良いのか。

それは地域が大きな役割を担っている。社協、行政区そして多くの支援者の皆さんで地域共生社会をつくるのが大事との講和を頂きました。この講習会での知識を今後の活動に生かしましょう。講師は長谷川孝介氏と外岡仁氏です

先の運営委員会に於いて見守り委員会の委員長が交代しました。

新見守り委員長：谷本敦史氏(栄町行政区)

バス日帰り研修会

31年2月22日

スマイルサポーター皆さんの交流を兼ねた日帰り研修会。

今回は食品トレー製造工場の「エフピコ」関東リサイクル工場へ。

私たちがリサイクルしている食品トレーが、どのように再利用されているのか、回収後の工程を知ることが出来ました。環境保護のためリサイクルがいかに大事なのかも知ることが出来た一日でした。



ウォーキングサポーターが児童を見守る



学校との連携を益々盛んに

ウォーキングサポーターによる見守り活動、登校・下校時に子供たちの安全を見守っています。特に下校時の不審者情報も多く、地域から不幸な事態は起こさないをモットーに活動しています。活動は強制ではなく自分の予定に合わせ、無理なく参加できることが良い点です。皆さんの参加をお待ちしています。

子育ては地域と、学校が一体で

学校との連携委員会は、岡田小学校・牛久第一中学校と岡田小地区社協およびその構成行政区との連携を図っています。

★岡田小との連携では、もち米づくり体験・昔の遊び・登下校の見守り・マラソン時の立哨・歌声集会・先生研修時の授業見守り等々多くの連携をしています。

★牛久一中との連携では窓口的役割を果たしており、学校の方針に合わせ生徒のボランティア活動への協力と、行政区からの要請で各行事に生徒さんたちに参加して頂いています。

3年目となった岡田小学校4年生による、田植え、稲刈りそして餅つきでは岡田小地区社協のサポーターの皆さんが活躍しています。子供たちの真剣なまなざしと、笑顔が今年も出来たというとても嬉しいひと時です。



田植え



稲刈り



餅つき



ならせ餅体験

広報活動の記者募集(編集後記)

岡田小地区社協広報委員会では、各行政区より1名程度、地域での活動の写真および記事、また、日々の会館使用状況などを提供いただける通信員を募集しています。

“短文の記事”と写真で結構ですので、広報委員会まで。

連絡先 広報委員会 宗形廣好

TEL 080-5986-9386 Email:munakatak@jcom.home.ne.jp